

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第6534349号
(P6534349)

(45) 発行日 令和1年6月26日(2019.6.26)

(24) 登録日 令和1年6月7日(2019.6.7)

(51) Int.Cl.

F 1

G 06 Q 50/10	(2012.01)	G 06 Q 50/10
G 16 H 80/00	(2018.01)	G 16 H 80/00
G 06 F 15/00	(2006.01)	G 06 F 15/00 440B

請求項の数 17 (全 19 頁)

(21) 出願番号 特願2015-533245 (P2015-533245)
 (86) (22) 出願日 平成25年9月23日 (2013.9.23)
 (65) 公表番号 特表2015-535990 (P2015-535990A)
 (43) 公表日 平成27年12月17日 (2015.12.17)
 (86) 国際出願番号 PCT/US2013/061163
 (87) 国際公開番号 WO2014/047550
 (87) 国際公開日 平成26年3月27日 (2014.3.27)
 審査請求日 平成28年9月16日 (2016.9.16)
 (31) 優先権主張番号 13/624,413
 (32) 優先日 平成24年9月21日 (2012.9.21)
 (33) 優先権主張国 米国(US)

前置審査

(73) 特許権者 515076987
 エイチ・エス・シィ・アクイジション・リ
 ミテッド・ライアビリティ・カンパニー・
 ドゥーイング・ビジネス・アズ・ヘルスス
 ター・コミュニケーションズ
 H S C A C Q U I S I T I O N, L L
 C D B A H E A L T H S T A R C O
 M M U N I C A T I O N S
 アメリカ合衆国、07430 ニュー・ジ
 ャージー州、マファ、ウィックоф・アベニ
 ュ、1000
 (74) 代理人 110001195
 特許業務法人深見特許事務所

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】プロモーションイベントを容易にするためのシステムおよび方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータによって実行される、健康管理プロモーションイベントを容易にするための方法であって、

ハブコンピュータにより、複数の予め規定される健康管理プロモーションイベントから、ある予め規定される健康管理プロモーションイベントを選択することを備え、前記選択された予め規定される健康管理プロモーションイベントは、予め記録された健康管理プロモーションビデオを含み、さらに、

前記ハブコンピュータにより、複数の健康管理専門家から選択されるある健康管理専門家に対して、前記選択された予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加するよう、招待を表現するデータを、前記健康管理専門家に関連付けられたスパークコンピュータに送信するステップを備え、前記ハブコンピュータと前記スパークコンピュータとはネットワークを通じて通信し、

前記選択された予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加することは、前記予め記録された健康管理プロモーションビデオを見ること、および前記ハブコンピュータが関連付けられた健康管理プロモーションイベントホストとのライブ通信に前記ハブコンピュータによって参加することを備え、前記方法はさらに、

前記選択された予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加するという前記健康管理専門家の意思の確認を、前記スパークコンピュータから、前記ハブコンピュータにおいて受信するステップと、

10

20

前記ハブコンピュータにおいて、前記健康管理専門家が前記予め記録された健康管理プロモーションビデオに関連付けられた、予め規定される情報を含む通信を受け取ったという第1の通知を、前記スクロールコンピュータから受信するステップと、

前記ハブコンピュータにおいて、前記第1の通知を受取ったことに応答して、前記ハブコンピュータが、前記予め記録された健康管理プロモーションビデオの再生を開始するステップと、

前記ハブコンピュータにおいて、前記健康管理専門家が前記予め記録された健康管理プロモーションビデオを完全に見終わったという第2の通知を、前記スクロールコンピュータから受信するステップと、

前記ハブコンピュータにおいて、前記第2の通知を受取ったことに応答して、前記ハブコンピュータが、前記スクロールコンピュータとのライブ通信を確立するステップとを備える、方法。 10

【請求項2】

前記ハブコンピュータが認証管理資格情報を前記健康管理プロモーションイベントホストから受け付けるステップと、

前記ハブコンピュータが、前記健康管理専門家を特定するために、前記認証管理資格情報に基づいて前記複数の健康管理専門家をフィルタ処理するステップと、

前記ハブコンピュータが、前記選択された予め規定される健康管理プロモーションイベントを特定するために、前記認証管理資格情報に基づいて前記複数の予め規定される健康管理プロモーションイベントをフィルタ処理するステップとをさらに備える、請求項1に記載の方法。 20

【請求項3】

前記ハブコンピュータが、前記健康管理専門家が前記選択された予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加したかどうかを示す第3の通知を前記スクロールコンピュータから受信するステップと、

前記ハブコンピュータが、前記健康管理専門家が前記選択された予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加したかどうかを示すデータを記憶するステップとをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記ハブコンピュータが、前記健康管理専門家が前記選択された予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加したことを確認するレポートを生成するステップをさらに備える、請求項3に記載の方法。 30

【請求項5】

前記ハブコンピュータが前記選択された予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加するよう招待を表現するデータを送信しなかった、前記スクロールコンピュータに関連付けられる第2の健康管理専門家が、前記選択された予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加したという第3の通知を、前記ハブコンピュータが前記スクロールコンピュータから受信するステップと、

前記ハブコンピュータが、前記第2の健康管理専門家が前記選択された予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加したことを示すデータを記憶するステップとをさらに備える、請求項1に記載の方法。 40

【請求項6】

前記ライブ通信は、ビデオ会議セッションを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

健康管理プロモーションイベントを容易にするためのシステムであって、

ある予め規定される健康管理プロモーションイベントと関連付けられる健康管理の重要なオピニオンリーダーと健康管理専門家とのためにライブのビデオ会議を主催するよう構成されるハブコンピュータを備え、前記ハブコンピュータは、前記健康管理の重要なオピニオンリーダーに関連付けられるとともに、前記健康管理専門家に関連付けられるスクロールコンピュータとネットワークを通じて通信し、さらに、 50

前記ハブコンピュータは、少なくとも1つのプロセッサと、少なくとも1つのコンピュータ読み取り可能な有形の記憶装置と、前記少なくとも1つのコンピュータ読み取り可能な有形の記憶装置に記憶され前記少なくとも1つのプロセッサによる実行のためのプログラム命令とを含み、前記プログラム命令は、前記少なくとも1つのプロセッサに、

ある健康管理専門家が前記予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加を希望するというステータス情報を記憶させ、

前記健康管理専門家が予め記録された健康管理プロモーションビデオに関連付けられた、予め規定される情報を含む通信を受け取ったという第1の通知を前記スパークコンピュータから受信することにより、前記予め規定される健康管理プロモーションイベントと関連付けられる健康管理プロモーションビデオの再生を開始させ、

前記健康管理専門家が前記予め記録された健康管理プロモーションビデオを完全に見終わったという第2の通知を前記スパークコンピュータから受信することにより、前記ライブのビデオ会議のために前記健康管理専門家に関連付けられたスパークコンピュータへの接続を確立させ、

前記健康管理専門家が前記予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加したかどうかを示す第3の通知を前記スパークコンピュータから受信することにより、前記予め規定される健康管理プロモーションイベントに関連付けられる前記健康管理専門家が前記予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加したというステータス情報を記憶させる、健康管理プロモーションイベントを容易にするためのシステム。

【請求項8】

前記プログラム命令は、前記少なくとも1つのプロセッサに、

前記健康管理専門家から地理的に離れたさらなる健康管理専門家が前記予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加を希望するというステータス情報を記憶させ、

前記予め規定される健康管理プロモーションイベントに関連付けられる前記健康管理プロモーションビデオの再生を開始させ、

前記ライブのビデオ会議のために、前記さらなる健康管理専門家に関連付けられる第2のスパークコンピュータとの第2の接続を確立させ、前記健康管理の重要なオピニオンリーダーに関連付けられる前記ハブコンピュータは、前記さらなる健康管理専門家に関連付けられる前記第2のスパークコンピュータとネットワークを通じて通信し、さらに、前記プログラム命令は、前記少なくとも1つのプロセッサに、

前記さらなる健康管理専門家が前記予め規定される健康管理プロモーションイベントに参加したというステータス情報を記憶させる、請求項7に記載のシステム。

【請求項9】

健康管理専門家を表現するデータと、予め規定される健康管理プロモーションイベントを表現するデータと、健康管理プロモーションビデオとを記憶するよう構成されるストレージコンピュータをさらに備え、前記プログラム命令は、さらに、前記少なくとも1つのプロセッサに、前記記憶装置に記憶した、健康管理専門家を表現するデータ、予め規定される健康管理プロモーションイベントを表現するデータ、および健康管理プロモーションビデオを、前記ストレージコンピュータと同期させる、請求項7に記載のシステム。

【請求項10】

前記ストレージコンピュータは、健康管理専門家とプロモーションイベントとの間の予め規定される関連付けを表現するデータを記憶するように構成され、前記ハブコンピュータは、前記記憶装置に記憶した、健康管理専門家とプロモーションイベントとの間の予め規定される関連付けを表現するデータを前記ストレージコンピュータと同期させる、請求項9に記載のシステム。

【請求項11】

前記スパークコンピュータは携帯可能なタブレットコンピュータである、請求項7に記載のシステム。

【請求項12】

バーチャルのプロモーションイベントを容易にするための、コンピュータによって実行

10

20

30

40

50

される方法であって、

ハブコンピュータにより、複数のバーチャルのプロモーションイベントから、あるバーチャルのプロモーションイベントを選択するステップを備え、前記選択されたバーチャルのプロモーションイベントは、予め記録されたプロモーションビデオを含み、さらに、

前記ハブコンピュータにより、予め規定されるデータセットから選択されるある招待者に対して、前記選択されたバーチャルのプロモーションイベントに参加するよう、招待を表現するデータを、前記招待者に関連付けられたスパークコンピュータに送信するステップを備え、前記ハブコンピュータと前記スパークコンピュータとはネットワークを通じて通信し、

前記選択されたバーチャルのプロモーションイベントに参加することは、前記予め記録されたプロモーションビデオを見ること、および前記ハブコンピュータが関連付けられたバーチャルのプロモーションイベントホストとのライブ通信に参加することであり、さらに、

前記選択されたバーチャルのプロモーションイベントに参加するという前記招待者の意思の確認を、前記ハブコンピュータが前記スパークコンピュータから受取るステップと、

前記確認を受取ったことに応答して、前記ハブコンピュータが、前記招待者のステータスを招待されたステータスから確認されたステータスに変更するステップと、

前記確認された招待者が前記予め記録されたプロモーションビデオに関連付けられる予め規定される情報を備える通信を受取ったという第1の通知を前記ハブコンピュータが受けるステップと、

前記ハブコンピュータが前記第1の通知を受け取ったことに応答して、前記ハブコンピュータが前記予め記録されたプロモーションビデオの再生を開始するステップと、

前記ハブコンピュータにおいて、前記確認された招待者が前記予め記録されたプロモーションビデオを完全に見終わったという第2の通知を、前記スパークコンピュータから受信するステップと、

前記ハブコンピュータにおいて、前記第2の通知を受取ったことに応答して、前記ハブコンピュータが、前記スパークコンピュータとのライブ通信を確立するステップとを備える、方法。

【請求項13】

前記方法はさらに、

前記ハブコンピュータが認証管理資格情報を前記バーチャルのプロモーションイベントホストから受け付けるステップと、

前記ハブコンピュータが、前記確認された招待者を特定するために、前記認証管理資格情報に基づいて前記データセットをフィルタ処理するステップと、

前記ハブコンピュータが、前記選択されたバーチャルのプロモーションイベントを特定するために、前記認証管理資格情報に基づいて前記複数のバーチャルのプロモーションイベントをフィルタ処理するステップとをさらに備える、請求項12に記載の方法。

【請求項14】

前記ハブコンピュータが、前記確認された招待者が前記選択されたバーチャルのプロモーションイベントに参加したかどうかを示す第3の通知を受取るステップと、

前記ハブコンピュータが、招待客が前記選択されたバーチャルのプロモーションイベントに参加したことを示すデータを記憶するステップとをさらに備える、請求項12に記載の方法。

【請求項15】

前記ハブコンピュータが、前記選択されたバーチャルのプロモーションイベントに参加するよう招待を表現するデータが送信されなかった非招待客が、前記選択されたバーチャルのプロモーションイベントに参加したという第3の通知を受取るステップと、

前記非招待客のステータスを、前記非招待客が前記選択されたバーチャルのプロモーションイベントに参加したことを示すステータスに変更するステップとをさらに備える、請求項12に記載の方法。

10

20

30

40

50

【請求項 16】

前記方法は、さらに、

前記ハブコンピュータが、前記非招待客が前記データセットに含まれていないと判断したことに応答して、前記ハブコンピュータが、前記非招待客を表現するデータを記憶するステップを備える、請求項15に記載の方法。

【請求項 17】

前記ライブ通信は、ビデオ会議セッションである、請求項12に記載の方法。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

発明の分野

10

この開示はプロモーションイベントの分野に関する。より特定的には、この発明は健康管理プロモーションイベントを容易にするためのシステムおよび方法に関する。

【背景技術】**【0002】**

背景

産業界のオピニオンリーダーは、業界内の他者に対して、ある選択をさせたり、彼らの意見をオピニオンリーダーの意見と整合させるように一致させるよう影響を与えることにおいて効果的であると考えられている個人である。健康管理業界では特に、重要なオピニオンリーダー（KOL）は、他の医師に対して、ある特定の薬剤製造業者によって製造されたある薬剤を処方するよう影響を与えることができる医師である。したがって、ある特定の薬剤をプロモーションする健康管理市場会社にとって、KOLがその薬剤に関する自分の意見を他の健康管理専門家と共有できるプロモーションイベントを手配することは、望ましい。

20

【0003】

1つのタイプの健康管理プロモーションイベントは、ある特定の薬剤に関して講和するKOLを呼び物とした、医師の夕食会である。そのような物理的出席を必要とするプロモーションイベントは、しかしながら、時間的制約および地理的制約のため、一部の医師にとっては実際的ではないかも知れない。さらに、健康管理プロモーションイベントを催すことは、ある業界規則およびコンプライアンス基準を遵守することを必要とし、それは、健康管理市場会社にとって文書化および従うことが負担であるかもしれない。

30

【発明の概要】**【課題を解決するための手段】****【0004】**

健康管理プロモーションイベントを容易にするための方法は、コンピュータが、複数の健康管理専門家から選択されるある健康管理専門家に対して、複数の予め規定される健康管理プロモーションイベントから選択されるある健康管理プロモーションイベントに参加するよう、招待を表現するデータを送信するステップを含み、健康管理プロモーションイベントに参加することは、予め記録された健康管理プロモーションビデオを見ること、および健康管理プロモーションイベントホストとのライブ通信に参加することを含む。この方法はさらに、コンピュータが、健康管理プロモーションイベントに参加するという健康管理専門家の意思の確認を受信するステップを含む。この方法はさらに、予め記録された健康管理プロモーションビデオに関連付けられる予め規定される情報を含む通信を健康管理専門家が受取ったという通知をコンピュータが受取ったことに応答して、コンピュータが、予め記録された健康管理プロモーションビデオの再生を開始することによって、健康管理プロモーションイベントを起動するステップを含む。この方法はさらに、健康管理専門家が予め記録された健康管理プロモーションビデオを完全に見終わったという通知をコンピュータが受取ったことに応答して、コンピュータが、健康管理プロモーションイベントホストとのライブ通信を確立するステップを含む。

40

【0005】

50

健康管理プロモーションイベントを容易にするためのシステムは、ある健康管理プロモーションイベントと関連付けられる健康管理の重要なオピニオンリーダーとライブのビデオ会議を主催するよう構成されるハブコンピュータを含む。このシステムは、さらに、少なくとも1つのプロセッサと、少なくとも1つのコンピュータ読取可能な有形の記憶装置と、少なくとも1つの記憶装置に記憶され少なくとも1つのプロセッサによる実行のためのプログラム命令とを含むスパークコンピュータを含む。プログラム命令は、ある健康管理専門家を健康管理プロモーションイベントと関連付けるよう構成される第1のプログラム命令を含む。プログラム命令は、さらに、健康管理プロモーションイベントと関連付けられる健康管理プロモーションビデオの再生を開始するよう構成される第2のプログラム命令を含む。プログラム命令は、さらに、ハブコンピュータを介して、健康管理の重要なオピニオンリーダーとのライブのビデオ会議への接続を確立するよう構成される第3のプログラム命令を含む。プログラム命令は、さらに、健康管理プロモーションイベントに関連付けられる健康管理専門家が健康管理プロモーションイベントに参加したことを証明するよう構成される第4のプログラム命令を含む。10

【0006】

バーチャルのプロモーションイベントを容易にするためのコンピュータプログラム製品は、少なくとも1つのコンピュータ読取可能な有形の記憶装置と、少なくとも1つの記憶装置に記憶されるプログラム命令とを含む。プログラム命令は、予め規定されるデータセットから選択されるある招待者に対して、複数の予め規定されるバーチャルのプロモーションイベントから選択されるあるバーチャルのプロモーションイベントに参加するよう、招待を表現するデータを送信するよう構成される第1のプログラム命令を含み、バーチャルのプロモーションイベントに参加することは、予め記録されたプロモーションビデオを見ること、およびバーチャルのプロモーションイベントホストとのライブ通信に参加することとを含む。プログラム命令はさらに、バーチャルのプロモーションイベントに参加するという招待者の意思の確認を受取り、確認を受取ったことに応答して、招待者のステータスを招待されたステータスから確認されたステータスに変更するよう構成される第2のプログラム命令を含む。プログラム命令はさらに、確認された招待者がプロモーションビデオに関連付けられる予め規定される情報を含む通信を受取ったという通知を受け、それに応答して、予め記録されたプロモーションビデオの再生を開始することによってバーチャルのプロモーションイベントを起動するよう構成される第3のプログラム命令を含む。プログラム命令はさらに、確認された招待者が予め記録されたプロモーションビデオを完全に見終わったという通知を受け、それに応答して、バーチャルのプロモーションイベントホストとの通信を確立するよう構成される第4のプログラム命令を含む。20

【0007】

図面の簡単な説明

添付の図面においては、以下の詳細に記載と併せて、この発明の例示的実施例を記載する構造が示される。同様の要素は同じ参照番号で識別される。単一のコンポーネントとして示される要素は複数のコンポーネントと置き換えられてもよく、複数のコンポーネントとして示される要素は1つのコンポーネントと置き換えられてもよいことが理解されるべきである。図面は尺度決めされては描かれず、ある要素の比率は、説明の目的のため、誇張されている場合がある。40

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】プロモーションイベントを容易にするための例示的システムを示す。

【図2】プロモーションイベントを容易にするための例示的システムのブロック図を示す。

【図3】プロモーションイベントを容易にするための例示的方法を示すフローチャートである。

【図4】プロモーションイベントを容易にするために図1の例示的システムを実現するための例示的コンピュータの概略図である。50

【発明を実施するための形態】**【0009】****詳細な記載**

以下は、ここにおいて用いられる選択された用語の定義を含む。これらの定義は、ある用語の範囲内に入り、実現のために用いられてもよいコンポーネントのさまざまな例、形式、またはそれらの両方を含む。例は、限定的であるようには意図されない。用語の単数形および複数形の両方が定義内に入り得る。

【0010】

「コンピュータ通信」は、ここで用いられるとおりでは、2つ以上のコンピューティング装置（たとえばコンピュータ、パーソナルデジタルアシスタント、携帯電話など）間に10における通信を指し、たとえば、ネットワーク転送、ファイル転送、アプレット転送、eメール、ハイパーテキストトランスファープロトコル（H T T P）転送などであり得る。コンピュータ通信は、たとえば、ワイヤレスシステム（たとえばI E E E 8 0 2 . 1 1、I E E E 8 0 2 . 1 5）、イーサネット（登録商標）システム（たとえばI E E E 8 0 2 . 3）、トーカンリングシステム（たとえばI E E E 8 0 2 . 5）、ローカルエリアネットワーク（L A N）、ワイドエリアネットワーク（W A N）、ポイント・トゥ・ポイントシステム、回路切換システム、パケット切換システム、それらの組合せなどを介して生じ得る。

【0011】

「コンピュータ読取可能媒体」とは、ここで用いられるとおりでは、直接的または間接的に信号、命令またはデータを提供することに関与する媒体を指す。コンピュータ読取可能媒体は、不揮発性媒体、揮発性媒体、および伝送媒体を含む形式を取ってもよいが、それらの限定されるものではない。不揮発性媒体は、たとえば、光ディスクまたは磁気ディスクなどを含んでもよい。揮発性媒体は、たとえば、光ディスクまたは磁気ディスク、ダイナミックメモリなどを含んでもよい。伝送媒体は、同軸ケーブル、銅線、光ファイバケーブルなどを含んでもよい。伝送媒体は、さらに、ラジオ波および赤外線データ通信中に生成されるもののような、電磁放射の形式、または1つ以上の信号のグループの形式を取り得る。コンピュータ読取可能媒体の一般的な形式は、フロッピー（登録商標）ディスク、フレキシブルディスク、ハードディスク、磁気テープ、その他の磁気媒体、C D - R O M、その他の光学媒体、パンチカード、紙テープ、その他の、穴のパターンを有する物理的媒体、R A M、R O M、E P R O M、F L A S H - E P R O M、またはその他のメモリチップもしくはカード、メモリスティック、搬送波／パルス、相変化メモリ、その他の、コンピュータ、プロセッサまたは他の電子装置が読取ることができる他の媒体を含むが、それらに限定されるものではない。命令または他のソフトウェアをインターネット（登録商標）のようなネットワークを介して伝搬するのに用いられる信号は、「コンピュータ読取可能媒体」として考えられ得る。

【0012】

「データストア（記憶部）」は、ここで用いられるとおりでは、データを記憶し得る物理エンティティまたは論理エンティティを指す。データストアは、たとえば、データベース、テーブル、ファイル、リスト、キュー、ヒープ、メモリ、レジスタなどであってもよい。データストアは、1つの論理エンティティもしくは物理エンティティにあってもよく、または2つ以上の論理エンティティもしくは物理エンティティ間に分散されてもよい。

【0013】

「ロジック」は、ここで用いられるとおりでは、機能もしくはアクションを実行するよう、または機能もしくはアクションを他の論理、方法もしくはシステムから引起すよう、ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェアまたは各々の組合せを含むが、それらに限定されるものではない。たとえば、所望のアプリケーションまたはニーズに基づいて、ロジックは、ソフトウェアにより制御されるマイクロプロセッサ、アプリケーション特化集積回路（A S I C）のようなディスクリートなロジック、プログラミングされたロジックデバイス、命令を含むメモリデバイスなどを含んでもよい。ロジックは、1つ以上のゲー

10

20

30

40

50

ト、ゲートの組合せ、または他の回路コンポーネントを含んでもよい。ロジックは、さらに、完全にソフトウェアとして実施されてもよい。複数の論理ロジックが記載される場合、複数の論理ロジックを1つの物理ロジックに組込むことが可能であってもよい。同様に、1つの論理ロジックが記載される場合、その1つの論理ロジックを複数の物理ロジック間ににおいて分散させることが可能であってもよい。

【0014】

「動作可能な接続」、またはエンティティが「動作可能に接続される」接続とは、信号、物理的通信、または論理的通信が送信または受信されてもよい接続である。典型的には、動作可能な接続は、物理的インターフェイス、電気的インターフェイス、またはデータインターフェイスを含むが、動作可能な接続は、動作可能な制御を可能にするのに十分な、これらの他の組合せまたは他のタイプの接続を含んでもよいことが注目される。たとえば、2つのエンティティは、直接、またはプロセッサ、オペレーティングシステム、ロジック、ソフトウェアもしくは他のエンティティなどのような1つ以上の中間エンティティを介して、互いに対しても信号を通信することができることによって、動作可能に接続され得る。論理通信チャネルまたは物理通信チャネルを用いて、動作可能な通信をなし得る。

10

【0015】

「ソフトウェア」は、ここで用いられる限りでは、読み出、解釈、コンパイルまたは実行され得、コンピュータ、プロセッサ、または他の電子デバイスに機能、アクションを実行させるかまたは所望の態様で振る舞わせる、1つ以上のコンピュータ命令またはプロセッサ命令を含むが、それらに限定されるものではない。それらの命令は、動的もしくは静的にリンクされたライブラリからの別途なアプリケーションもしくはコードを含むルーチング、アルゴリズム、モジュール、方法、スレッド、またはプログラムのようなさまざまな形式において実現されてもよい。ソフトウェアは、さらに、スタンドアローンプログラム、ファンクションコール（局所または遠隔）、サーブレット、アプレット、メモリに記憶される命令、オペレーティングシステムの一部、もしくは他のタイプの実行可能な命令を含むさまざまな実行可能またはロード可能な形式にて実現されてもよいが、それらに限定されるものではない。当業者は、ソフトウェアの形式は、たとえば、所望のアプリケーションの要件、それが実行される環境、または設計者／プログラマーの要望などに依存し得ることを理解するであろう。さらに、コンピュータ読み取り可能または実行可能な命令は、1つのロジックに位置するか、または2つ以上の通信する、共働する、もしくは並列処理を行なうロジック間ににおいて分散され得、したがって、直列、並列、超並列、および他の態様でロードまたは実行され得ることも理解される。

20

【0016】

ここに記載される例示的システムおよび方法のさまざまなコンポーネントを実現するための好適なソフトウェアは、Java（登録商標）、Java Script（登録商標）、Java.NET、ASP.NET、VB.NET、Cocoa、Pascal、C#、C++、C、CGI、Perl、SQL、API、SDK、アセンブリ、ファームウェア、マイクロコード、または他の言語およびツールなどのような、プログラミング言語ならびにツールを用いて製造されてもよい。ソフトウェアは、システム全体であれ、システムのコンポーネントであれ、製造品として実現され、先に定義されたようなコンピュータ読み取り可能媒体の一部として維持または提供されてもよい。ソフトウェアの他の形式は、ソフトウェアのプログラムコードを、受信側に、ネットワークまたは他の通信媒体を介して送信する信号を含んでもよい。したがって、一例においては、コンピュータ読み取り可能媒体は、ウェブサーバからユーザにダウンロードされる際にソフトウェア／ファームウェアを表現する信号の形式を有する。他の例では、コンピュータ読み取り可能媒体は、ウェブサーバに維持される際にソフトウェア／ファームウェアの形式を有する。他の形式も用いてもよい。

30

【0017】

「ユーザ」は、ここで用いられる限りでは、1人以上の人、ソフトウェア、コンピュータもしくは他のデバイス、またはこれらの組合せを含むが、それらに限定されるものではない。

40

50

【0018】

図1は、プロモーションイベントを容易にするための例示的システム100を示す。システム100は、健康管理プロモーションイベントを容易にするという文脈において記載されるが、システム100は、さらに、イベント主催者によって適切であると見なされるさまざまな適用可能な製品またはサービスのために、他の分野においてプロモーションイベントを容易にするよう用いられてもよいことが理解されるべきである。システム100は、イベント主催者が、1人以上の健康管理専門家102a～102n（以下、健康管理専門家102）をイベントホスト104に接続することを可能にする。

【0019】

イベントホスト104は、健康管理の主題のエキスパート、または健康管理の重要なオピニオンリーダー（以下「KOL」と称される）であり、健康管理専門家102とプロモーションされる薬剤または他の製品について議論し、その薬剤について質問に答える資格を有する。システム100は、その薬剤について、イベントホスト104と健康管理専門家102との間でのバーチャルなリアルタイムの質疑応答セッション（以下「Q/Aセッション」）を可能にする。バーチャルなセッションへの言及は、健康管理専門家102が、イベントホスト104と同じ場所に物理的に存在することなく、イベントホスト104と通信および対話できることも含むよう意味される。健康管理専門家102をイベントホスト104に接続するに先立って、システム100は、その薬剤についての予め記録されたビデオを健康管理専門家102に対して表示して、健康管理専門家102を教育し、その薬剤についての背景情報を提供する。

10

20

【0020】

したがって、1つの例示的実施例においては、プロモーションイベントは2つのコンポーネントを含み、すなわち健康管理専門家102は予め記録されたビデオを見せられ、その後、健康管理専門家102は、リアルタイムQ/Aセッションのために、イベントホスト104とバーチャルに接続される。システム100は、イベント主催者がそのようなバーチャルのプロモーションイベントを容易にすることを可能にする。プロモーションイベントは、システム100が同様に容易にするよう構成されてもよいさらなるコンポーネントを含んでもよいことが理解されるべきである。たとえば、あるイベント主催者は、プロモーションイベントに、調査または他の同様のタイプの対話型コンポーネントを含むようすることを望むかもしれない。

30

【0021】

システム100は、スマークコンピュータ106を含み、それは、健康管理専門家102が、予め記録されたビデオを見ること、およびイベントホスト104とリアルタイムで通信することを可能にするよう構成される。スマークコンピュータ106はラップトップコンピュータとして示されているが、スマークコンピュータ106は、タブレットコンピュータ、携帯電話、または任意の他のタイプの好適なモバイルコンピューティングデバイスであってもよいことが理解されるべきである。スマークコンピュータ106はディスプレイを含んでもよく、またはテレビもしくは他のタイプの表示スクリーン上に投影してもよい。システム100は、さらに、ハブコンピュータ108を含み、それは、イベントホスト104が健康管理専門家102と接続して、プロモーションイベントのライブのQ/Aセッションに参加することを可能にするよう構成される。ハブコンピュータ108はコンピュータサーバまたはメインフレームとして示されているが、ハブコンピュータは、ラップトップコンピュータ、デスクトップコンピュータ、タブレットコンピュータ、携帯電話などのような任意の好適なコンピューティングデバイスであり得ることが理解されるべきである。スマークコンピュータ106およびハブコンピュータ108は、インターネット110を介して、無線または結線接続を用いて通信するよう構成される。スマークコンピュータ106およびハブコンピュータ108は、さらに、ローカルエリアネットワーク（LAN）またはワイドエリアネットワーク（WAN）などのような他の好適な手段を介して通信するよう構成されてもよいことが理解されるべきである。

40

【0022】

50

ある例示的実施例では、システム 100 は、さらに、第 2 の健康管理専門家 114 が、健康管理専門家 102 とは異なる地理的場所に物理的に位置し得るにも係わらず、同じプロモーションイベントに参加できるようにするための第 2 のスパークコンピュータ 112 を含む。たとえば、健康管理専門家 102 は第 1 の場所にいてもよく、他方、第 2 の健康管理専門家 114 は第 2 の場所にいてもよい。第 1 のイベント主催者および第 2 のイベント主催者は、物理的に、第 1 の場所および第 2 の場所に存在しており、各々、健康管理専門家 102 および第 2 の健康管理専門家 114 に、それぞれ、スパークコンピュータ 106 および第 2 のスパークコンピュータ 112 を提供して、彼らが同じ予め記録されたビデオを見ることができるようになる。スパークコンピュータ 106 および第 2 のスパークコンピュータ 112 は、両方とも、ハブコンピュータ 108 との接続を、インターネット 10 を介して、予定された時間に確立して、健康管理専門家 102 および第 2 の健康管理専門家 114 がイベントホスト 104 とライブの Q/A セッションに参加するように構成される。

【0023】

システム 100 は 2 つのスパークコンピュータを含むよう示されるが、システム 100 は、3 つ以上のスパークコンピュータを含んで、健康管理専門家が 3 つ以上の物理的な場所においてバーチャルのプロモーションイベントに参加することを容易にしてもよいことが理解されるべきである。したがって、システム 100 は、複数の場所に位置する複数の健康管理専門家がスパークコンピュータを介してハブコンピュータのイベントホストに接続して、イベントホストとのライブの通信セッションに参加することを可能にする、ハブおよびスパークモデルを実現する。スパークコンピュータに位置し、スパークコンピュータを介して参加する健康管理専門家は、スパークイベントに対応し、一方、ハブコンピュータを介して参加するイベントホストは、ハブイベントを表現する。

【0024】

1 つの例示的実施例においては、システム 100 はストレージコンピュータ 116 を含み、それは、健康管理専門家についての情報、予め規定された健康管理プロモーションイベントについての情報、および予め記録された健康管理プロモーションビデオを記憶するよう構成される。したがって、1 つの例示的実施例においては、スパークコンピュータ 106 および第 2 のスパークコンピュータ 112 は、データをストレージコンピュータ 116 と同期させるよう構成されて、スパークプロモーションイベントのスケジュールを立てるなどを容易にすることを助ける。ストレージコンピュータ 116 はコンピュータサーバまたはメインフレームとして示されるが、ストレージコンピュータ 116 は、デスクトップコンピュータ、ラップトップコンピュータ、またはデータを記憶することができる任意の他の好適なコンピューティングデバイスであってもよいことが理解されるべきである。

【0025】

ハブコンピュータは、スパークプロモーションイベントにおける参加を容易にするためにスパークプロモーションイベントを管理するためのシステムを含む。図 2 は、スパークコンピュータとして実施される、プロモーションイベントを容易にするための例示的なシステム 200 のブロック図を示す。システム 200 は、イベント主催者が、1 つ以上の予め規定されたプロモーションイベントからあるプロモーションイベントを選択し、1 人以上の健康管理専門家を 1 人以上の予め規定された健康管理専門家から選択してプロモーションイベントに招待することを可能にするよう構成される招待ロジック 202 を有する。換言すれば、イベント主催者は、ある健康管理専門家を、予め規定されたプロモーションイベントに関連付ける。この関連付けはスパークイベントを形成する。招待ロジック 202 は、イベント主催者が、複数のハブイベントに対応する複数のスパークイベントを形成することを可能にする。招待ロジック 202 は、さらに、イベント主催者が、予め形成されたスパークイベントについての情報を閲覧し、それらのスパークイベントを管理することを可能にもする。たとえば、イベント主催者は、予め形成されたスパークイベントをコードし、Q/A セッションに参加するようスケジュールを組まれた KOL についてのレジメなどのような情報を閲覧してもよい。イベント主催者は、さらに、既に招待された客を

10

20

30

40

50

取除くかまたはさらなる客を招待することによっても、招待者リストを管理してもよい。イベント主催者は、さらに、スパークイベントをキャンセルしてもよい。

【 0 0 2 6 】

あるプロモーションイベントは、健康管理専門家がそのプロモーションイベントと接続しそれに参加するのに必要な情報を含むプロモーションイベントデータによって予め規定される。たとえば、予め規定されたプロモーションイベントは、どのような薬剤または製品がプロモーションされるのか、どの予め記録されたビデオを参加者はライブのQ/Aセッションに参加する前に見ることを要求されるのか、ライブのQ/Aセッションを主催することになる主題エキスパートまたはKOLの名前およびそのエキスパートまたはKOLについての他の関連情報、ライブのQ/Aセッションの日時、ライブのQ/Aセッションとの接続方法に対する仕様などについての情報を含む。プロモーションイベントは、システムアドミニストレータによって、前もって、システムアドミニストレーションツールを用いて規定または形成される。ライブのQ/Aセッションと接続する方法に対する仕様は、たとえば、Adobe Connectセッションと接続するためのAdobe Connect URL、WebExもしくはGoToMeetingリンク、または通信会議に呼出を掛けるための電話番号を含んでもよい。

10

【 0 0 2 7 】

招待ロジック202は、さらに、バーチャルのプロモーションイベントに出席するようイベント主催者によって選択された1人以上の健康管理専門家に招待を送るよう構成される。ある例示的実施例では、招待ロジック202は、電子メール招待を送るよう構成される。別の例示的実施例では、招待ロジック202は、健康管理専門家をバーチャルのプロモーションイベントに出席するよう招待するために、ショートメッセージサービス(SMS)メッセージまたは他の好適な電子メッセージを送るよう構成される。招待ロジック202は、さらに、電子メールまたはSMSメッセージなどのような電子通信を、既に招待された健康管理専門家に送信して、プロモーションイベントがキャンセルされたことをその健康管理専門家に知らせるよう構成される。招待ロジック202は、さらに、イベント主催者から、「不十分なRSVP」または「接続問題」などのような、スパークイベントをキャンセルするための理由を受取り、その理由を、キャンセル通知の送信時に健康管理専門家に送信するよう構成される。

20

【 0 0 2 8 】

ある例示的実施例では、システム200は、イベント主催者から認証管理資格情報を受けるよう構成される認証ロジック204を含む。受取られた管理資格情報に基づいて、認証ロジック204は、イベント主催者に利用可能とされる、予め規定されたプロモーションイベントおよび健康管理専門家をフィルタ処理するよう構成される。たとえば、イベント主催者は、そのイベント主催者に割当てられた特定の地理的領域に在住する健康管理専門家を選択することに限定されてもよい。同様に、イベント主催者は、そのイベント主催者がプロモーションするよう割当てられている特定の薬剤または製品に関係付けられるプロモーションイベントを選択することに限定されてもよい。

30

【 0 0 2 9 】

1つの例示的実施例では、システム200は、スパークコンピュータ106上のデータをストレージコンピュータ116上のデータと同期させるよう同期ロジック206を含む。具体的には、同期ロジック206は、健康管理専門家についての情報、予め規定されたプロモーションイベントについての情報、および予め記録されたプロモーションビデオ同期させるよう構成される。したがって、システムアドミニストレータが、新たなプロモーションイベントを形成し、そのイベントデータをストレージコンピュータ116に記憶する場合には、同期ロジック206は、イベント主催者が、関連付けられるスパークイベントを、スパークコンピュータ106において形成することができるようにするために、その新たなプロモーションイベントについての情報を読み出すように構成される。一例においては、同期ロジック206は、イベント主催者の認証に基づいてデータを同期させるよう構成されてもよい。たとえば、同期ロジック206は、あるスパークコンピュータを、イベント主催者が別のスパークコンピュータ上において以前に規定したスパークイベント

40

50

または健康管理専門家と予め規定されたプロモーションイベントとの間の関連付けと同期させるよう構成されてもよい。したがって、イベント主催者は、同じスマークコンピュータを用いることに限定されない。

【0030】

システム200は、さらに、健康管理専門家が、招待された健康管理プロモーションイベントに参加する意思があるという確認を受取るよう構成されるステータスロジック208を含む。ステータスロジック208は、さらに、健康管理専門家が招待を受けた健康管理プロモーションイベントに参加する意思がないという確認を受取るよう構成される。1つの例示的実施例では、ステータスロジック208はそのような確認をイベント主催者による手動入力を介して受取る。たとえば、イベント主催者は、健康管理専門家からの確認を、SMSテキストメッセージ、eメール、電話または他の好適な手段を介して受取り、次いで、手動でその確認をステータスロジック208にユーザ入力装置(図示せず)を介して与えてもよい。他の例示的実施例では、ステータスロジック208は確認を直接健康管理専門家から受取ってもよい。たとえば、ステータスロジック208は、SMSテキストメッセージ、eメール、または他の好適な電子通信を受取り、その電子通信を処理して、健康管理専門家がプロモーションイベントに参加する意思があるどうかを判断するよう構成されてもよい。

【0031】

ステータスロジック208は、さらに、ある特定のプロモーションイベントに関して、招待された健康管理専門家のステータスを変更するよう構成される。たとえば、ステータスロジック208は、ある特定のプロモーションイベントに関して、健康管理専門家のステータスを、「招待された」ステータスから「確認された」ステータスまたは他の類似のステータスに変更するよう構成される。同様に、ステータスロジック208は、さらに、ある特定のプロモーションイベントに関して、健康管理専門家のステータスを、「招待された」ステータスから「辞退された」ステータスまたは他の類似のステータスに変更するよう構成される。ステータスロジック208は、ステータスデータを、データベースに、ローカルにハブコンピュータ108に記憶するか、またはステータスデータをストレージコンピュータ116と同期させるために記憶するよう、構成される。

【0032】

システム200は、さらに、予め記録された健康管理プロモーションビデオの再生を開始するよう構成されるビデオロジック210を含む。ある例示的実施例では、予め記録された健康管理プロモーションビデオは、ローカルに、スマークコンピュータ106に記憶される。別の例示的実施例では、予め記録された健康管理プロモーションビデオは、インターネット110を介して、再生中にスマークコンピュータ106にストリーミングされる。

【0033】

ある例示的実施例では、健康管理専門家は、予め記録された健康管理プロモーションビデオを見る許され、プロモーションイベントに参加する前に、特定の重要安全情報(ISH)または他の関係付けられるドキュメンテーションを読むことを求められてもよい。したがって、1つの例示的実施例では、ビデオロジック210は、健康管理専門家に対して、予め記録された健康管理プロモーションビデオおよびプロモーションされる薬剤と関連付けられるISHなどの予め規定された情報を通信するよう構成される。この例では、ビデオロジック210は、健康管理専門家がISHを読んだという確認をイベント主催者から受取った後においてのみ、予め記録された健康管理プロモーションビデオの再生を開始するよう構成される。たとえば、イベント主催者は、健康管理専門家がISHを読んだことを確認するためにボタンをクリックするよう求められてもよい。1つの例示的実施例では、ビデオロジック210は、健康管理専門家がISHを再び参照したいと所望する場合には、プロモーションイベント中の任意の時点においてISHを表示するよう構成される。

【0034】

10

20

30

40

50

ビデオロジック210は、プロモーションイベントを容易にするためにシステム200の文脈内において記載されているが、ビデオロジック210は、さらに、ライブのQ/Aセッションと関連付けられるプロモーションイベントとは独立して、予め記録されたビデオの再生を開始するよう構成されてもよいことが理解されるべきである。たとえば、販売代理人が販売会議において、薬剤または他の製品について健康管理専門家と議論していく、その健康管理専門家のために、ある特定のビデオを、スパークコンピュータ106に記憶されたビデオライブラリから再生することを望むかもしれない。しかしながら、販売代理人の販売訪問時にその特定の製品のためにスケジュールを組まれたプロモーションイベントはないかも知れない。したがって、一例においては、ビデオロジック210は、オンデマンドビデオプレゼンテーションのための選択を受取り、選択された予め記録されたビデオの再生を、具体的なスパークイベントを規定する必要なしに開始するよう構成される。
10

【0035】

システム200は、さらに、KOLなどのような健康管理プロモーションイベントホストとの通信を確立するよう構成される通信ロジック212を含む。したがって、通信ロジック212は、健康管理専門家がリアルタイムでKOLと通信して、質問を行ない、さらに、プロモーションされている製品または薬剤についてより多く議論し学ぶことを可能にする。ライブ通信は、ビデオ会議、通信会議、またはリアルタイムで通信するための他の好適な手段であり得る。たとえば、通信ロジック212は、Adobe Connectまたは他の好適な通信ソフトウェアを用いてKOLとの通信を確立するよう構成されてもよい。そのような例においては、予め規定されたプロモーションイベントは、Adobe Connectを介してKOLと接続するための仕様およびアクセス管理資格情報を含んでもよい。
20

【0036】

ある例示的実施例では、健康管理専門家は、まず、対応する予め記録されたビデオを完全に見ることに成功しなければ、KOLとのライブのQ/Aセッションまたは他のタイプのライブ通信に参加することを許可されないようにしてもよい。したがって、そのような実施例では、通信ロジック212は、健康管理専門家が対応する予め記録されたビデオを完全に見終えたという確認を受取った後においてのみ、KOLとの通信を確立するよう構成される。一例では、ビデオロジック210は、そのような確認をイベント主催者から受取り、その確認を通信ロジック212に与えるよう構成される。たとえば、イベント主催者は、ボタンをクリックして、その健康管理専門家がその予め記録されたビデオを完全に見終えたことを確認するよう求められてもよい。
30

【0037】

ある例示的実施例では、業界規則およびコンプライアンス基準によって、イベント主催者はプロモーションイベントにおける出席を追跡し報告することを求めるかもしれない。したがって、一例においては、ステータスロジック208は、プロモーションイベントに出席するという健康管理専門家の意思を確認するのみならず、その健康管理専門家が実際にそのプロモーションイベントに出席し参加したことを確認するよう構成される。具体的には、ステータスロジック208は、イベント主催者から、健康管理専門家がプロモーションイベントに参加したという確認を受取るよう構成される。ステータスロジック208は、さらに、健康管理専門家がプロモーションイベントに出席したことをイベント主催者が確認した場合には、その健康管理専門家のステータスを「確認された」から「出席した」または他の同様のステータスに変更するよう構成される。同様に、ステータスロジック208は、健康管理専門家がプロモーションイベントに出席しなかったことをイベント主催者が確認した場合には、その健康管理専門家のステータスを「確認された」から「不参加」または他の同様のステータスに変更するよう構成される。ステータスロジック208は、出席情報を、将来の報告および証明目的のために、データベースに記憶するよう構成される。
40

【0038】

プロモーションイベントが終了すると、出席者のリストを最終決定し、プロモーション
50

イベントを終わる前に、イベント主催者は、元々プロモーションイベントに出席するよう招待されてはいなかったが、それにも係わらず実際にはプロモーションイベントに出席した健康管理専門家を斟酌するために、出席者のリストを管理することを望むかもしれない。したがって、ステータスロジック 208 は、さらに、招待されなかった健康管理専門家が実際にはプロモーションイベントに出席したという通知を受取り、対応するデータを記憶するよう構成される。具体的には、ステータスロジック 208 は、健康管理専門家を、イベントマネージャによって形成されたスポーツイベントに追加することによって、その健康管理専門家をそのプロモーションイベントと関連付け、その健康管理専門家のステータスを「出席した」または同様のステータスに変更するよう構成される。ステータスロジック 208 は、さらに、その招待されなかった健康管理専門家が、元々の招待者が選択された前もって規定された健康管理専門家でない場合には、その招待されなかった健康管理専門家についての情報を記憶するよう構成される。10

【0039】

ある例示的実施例では、ステータスロジック 208 は、業界コンプライアンス基準および規則に従うために、プロモーションイベントが完了した後に、さまざまな証明質問に対する応答を受け記憶するよう構成される。たとえば、イベント主催者は、最終的な健康管理専門家出席者リストが完全であり正確であることを証明するよう求められてもよい。

【0040】

図 3 は、プロモーションイベントを促進するための例示的な方法を示すフローチャートである。ステップ 302において、招待ロジック 202 は、ある予め規定された健康管理専門家のグループから選択された健康管理専門家に対して、予め規定された健康管理プロモーションイベントのグループから選択されたプロモーションイベントに参加するよう、電子メッセージの形式で招待を送る。ある健康管理プロモーションイベントは、予め記録された健康管理プロモーションビデオ、および KOL などのようなプロモーションイベントホストとのライブ通信を含む。一例では、招待ロジック 202 は、招待を複数の健康管理専門家に送る。この例示的な方法は、健康管理プロモーションイベントを容易にすることに関して記載されているが、この例示的な方法は、健康管理以外の任意の好適な業界内において実現することも可能であることが理解されるべきである。20

【0041】

ある例示的実施例では、招待を送信する前に、招待ロジック 202 は、認証管理資格情報をイベント主催者から受取り、その受取られた管理資格情報に基づいて、イベント主催者が選択することができる予め規定された健康管理専門家および予め規定されたプロモーションイベントをフィルタ処理する。30

【0042】

ステップ 304 で、ステータスロジック 208 は、招待された健康管理専門家の、健康管理プロモーションイベントに参加するという意思の確認を受取る。ある例示的実施例においては、ステップ 306 で、ステータスロジック 208 は、確認を受取ったことに応答して、出席する意思を示すように、招待された健康管理専門家のステータスを更新する。

【0043】

ステップ 308 で、ビデオロジック 210 は、予め記録された健康管理プロモーションビデオの再生を開始する。ある例示的実施例では、ビデオロジック 210 は、重要安全情報などのような、プロモーションビデオに関連付けられる予め規定された情報を含む通信を、招待された健康管理専門家が受取ったという通知を受取ったことに応答して、プロモーションビデオの再生を開始する。40

【0044】

ステップ 310 で、通信ロジック 212 は、健康管理プロモーションイベントホストと、ライブのビデオ会議などのような通信を確立する。ある例示的実施例では、通信ロジック 212 は、健康管理専門家がプロモーションビデオを完全に見終わったという通知を受取ったことに応答して、通信を確立する。

【0045】

50

ある例示的実施例では、ステップ 312において、ステータスロジック 208は、招待された健康管理専門家がプロモーションイベントに参加したかどうかを示す通知を受取り、その情報を記憶する。ある例示的実施例では、ステータスロジック 208は、招待されなかった健康管理専門家がプロモーションイベントに参加したことを示す通知を受取る。したがって、ステータスロジック 208は、その招待されなかった健康管理専門家がプロモーションイベントに参加した旨を示すよう情報を記憶し、さらに、その健康管理専門家が予め規定された健康管理専門家でない場合には、その健康管理専門家についての情報を記憶する。

【0046】

説明を簡略にする目的のため、示される方法論は一連のブロックとして図示され記載されるが、この方法論は、いくつかのブロックは、図示され記載される順序とは異なる順序または他のブロックと並列して生じ得るから、それらブロックの順序によっては限定されないことが理解される。さらに、示されるブロックのすべてより少ないブロックが、例示的方法論を実現するよう求められてもよい。さらに、追加的または代替的な方法論は、追加的な、しかしながら図示されないブロックを用い得る。

10

【0047】

フロー図では、ブロックは、ロジックで実現されてもよい「処理ブロック」を示す。処理ブロックは、方法ステップ、またはその方法ステップを実行するための装置要素を表現してもよい。フロー図は、任意の特定のプログラミング言語、方法論またはスタイル（たとえば手続上、オブジェクト指向型など）のためのシンタックスを示さない。そうではなく、フロー図は、当業者がロジックを開発して、示される処理を実行するよう用いてよい、機能上の情報を示す。いくつかの例においては、一時的変数、ルーチンループなどのようなプログラム要素は示されないことが理解される。さらに、電子アプリケーションおよびソフトウェアアプリケーションは、動的および柔軟なプロセスを伴うことにより、示されるブロックが示されるものとは異なる他のシーケンスで行なわれ得てもよいこと、またはブロックが複数のコンポーネントに組合されるかもしくは分離されてもよいことが理解される。それらのプロセスは、機械言語、手続的、オブジェクト指向型または人工知能技術などのようなさまざまなプログラミングアプローチを用いて実現されてもよい。

20

【0048】

一例では、さまざまな方法論が、コンピュータ読取可能媒体上に与えられるプロセッサ実行可能な命令または動作として実現される。上記の方法はコンピュータ読取可能媒体上に与えられるものとして記載されているが、ここに記載される他の例示的な方法もコンピュータ読取可能媒体上に与えられ得ることが理解される。

30

【0049】

図3は、順次生ずるさまざまなアクションを示すが、図3に示されるさまざまなアクションは、実質的に並列に起こり得ることが理解される。4つのプロセスが記載されるが、それより多いまたは少ない数のプロセスも用いられ得ること、および軽量のプロセス、通常のプロセス、スレッド、および他のアプローチも用いられ得ることが理解される。いくつかの場合においては、他の例示的な方法も、実質的に並列に生ずるアクションを含むことが理解される。

40

【0050】

図4は、プロモーションイベントを容易にするためのシステムおよび方法を実現するための、図1に示される、スパークコンピュータ106またはハブコンピュータ108である、例示的コンピュータ400のブロック図である。この例示的コンピュータ400は、ラップトップ、デスクトップ、手持ち式のコンピュータ、タブレットコンピュータ、サーバ、および他の同様のタイプのコンピューティングデバイスを含む、さまざまな形態のデジタルコンピュータを表現するよう意図される。コンピュータ400は、バス412を介してインターフェイス410によって動作可能に接続される、プロセッサ402、メモリ404、記憶装置406、および通信部408を含む。

【0051】

50

記憶装置406は、招待ロジック202、認証ロジック204、同期ロジック206、ステータスロジック208、ビデオロジック210および通信ロジック212を含むシステム200を記憶し得る。

【0052】

プロセッサ402は、メモリ404を介して、コンピュータ400内と、招待ロジック202内と、認証ロジック204内と、同期ロジック206内と、ステータスロジック208内と、ビデオロジック210内と、通信ロジック212内とでの実行のために、記憶装置406に記憶される命令を処理する。ある例示的実施例では、複数のプロセッサが複数のメモリとともに用いられてもよい。

【0053】

メモリ404は、揮発性メモリまたは不揮発性メモリであってもよい。メモリ404は、磁気ディスクまたは光ディスクのようなコンピュータ読取可能媒体であってもよい。記憶装置406は、フロッピーディスク装置、ハードディスク装置、光ディスク装置、テープ装置、フラッシュメモリ、相変化メモリもしくは他の同様のソリッドステートメモリデバイス、または他の構成のストレージエリアネットワークにおける装置を含む装置のアレイなどのような、コンピュータ読取可能媒体であってもよい。コンピュータプログラム製品は、メモリ404または記憶装置406などのようなコンピュータ読取可能媒体において有形に実施され得る。コンピュータプログラム製品は、招待ロジック202、認証ロジック204、同期ロジック206、ステータスロジック208、ビデオロジック210および通信ロジック212を含むシステム200を含んでもよい。

10

【0054】

コンピュータ400は、ディスプレイ414、プリンタ416、スキャナ418およびマウス420などのような1つ以上の入出力装置に結合され得る。

【0055】

例示的なシステム、方法などが、例を記載することにより説明され、それらの例はかなり詳細に記載されたが、特許請求の範囲をそのような詳細に制限したり、または如何なる態様においても限定することを意図するものではない。もちろん、ここに記載されるシステム、方法などを記載する目的のために、コンポーネントまたは方法論のすべての考えられ得る組合せを記載することは可能ではない。さらなる利点および修正が当業者には容易に明らかとなる。したがって、この発明は、具体的な記載、および図示または記載される例に限定されるものではない。したがって、本願は、特許請求の範囲内に入る変更、修正および変形を包含するよう意図される。さらに、先の記載はこの発明の範囲を限定することを意味するものではない。そうではなく、この発明の範囲は特許請求の範囲およびそれらの均等物によって判断されることになる。

20

【0056】

「含む(includes, including)」という表現が本明細書または特許請求の範囲において用いられる範囲において、それは、請求項において従来的な語として用いられる際に解釈されるように「備える(comprising)」という語と同様の態様において包含的であるよう意図される。さらに、「または」という表現が用いられる範囲において(たとえばAまたはB)、それは、「AもしくはBまたは両方」を意味するよう意図される。出願人が、「AまたはBのみであり、両方ではない」と示すことを意図する際には、「AまたはBのみであり、両方ではない」という表現が用いられることになる。したがって、ここにおける「または」という表現の使用は、包含的であり、排他的な使用ではない。Bryan A. Garner, A Dictionary of Modern Legal Usage 624 (2d. Ed. 1995)を参照されたい。さらに、本明細書または特許請求の範囲において「～の中に」または「～の中へ」という表現が用いられる範囲において、それは、さらに、「～の上に」または「～の上へ」を意味するよう意図される。さらに、本明細書または特許請求の範囲において「接続する」という語が用いられる範囲において、それは、「～に直接接続される」のみならず、他のコンポーネントを介して接続されるなどのような「～に間接的に接続される」も意味するよう意図される。

30

40

50

【 0 0 5 7 】

詳細な記載のいくつかの部分は、メモリ内におけるデータビット上の演算のアルゴリズムおよび記号的表現に関して呈示される。これらのアルゴリズム的記述および表現は、当業者が、彼らの作業の実態を他の者に伝えるべく、当業者によって用いられる手段である。アルゴリズムは、ここでは、および一般的には、ある結果を生じさせる演算のシーケンスとして考えられる。演算は、物理量の物理的操作を含んでもよい。通常は、必ずしもではないが、物理量はロジックなどにおいて記憶、転送、結合、比較および他の態様で操作されることができる電気信号または磁気信号の形態を取る。

【 図 1 】

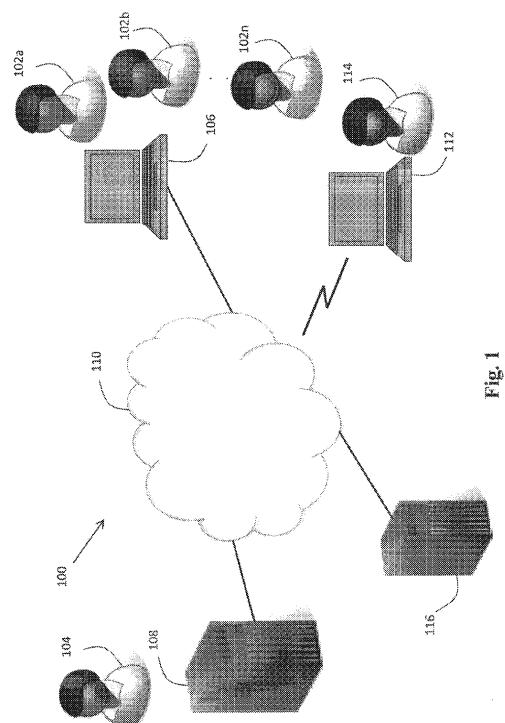


Fig. 1

【 図 2 】

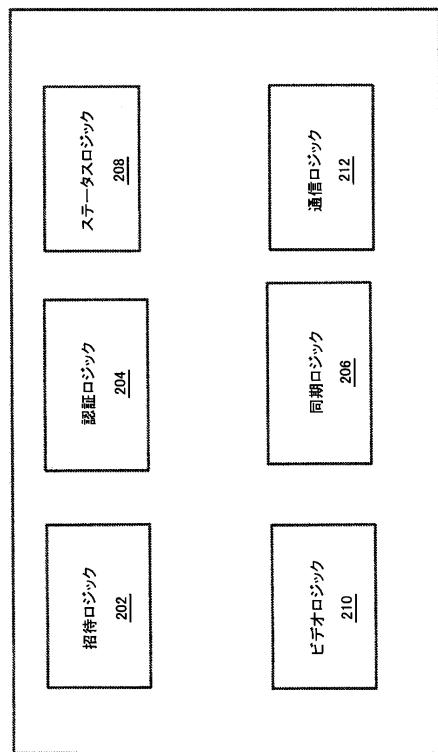
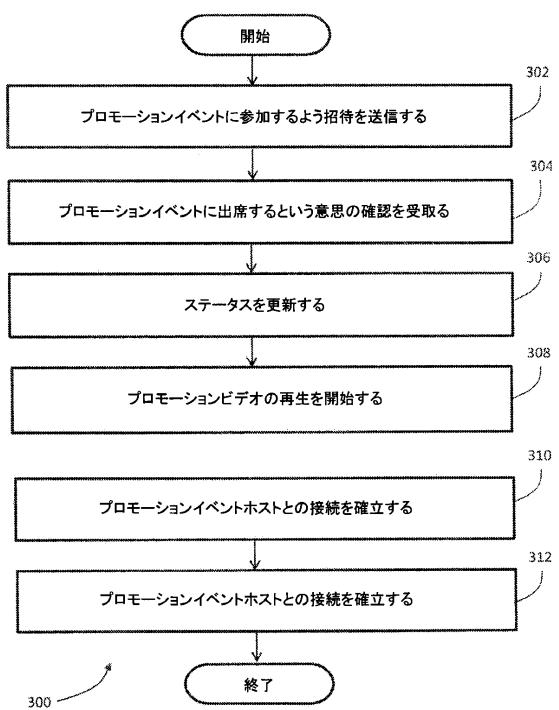


Fig. 2

【図3】



【図4】

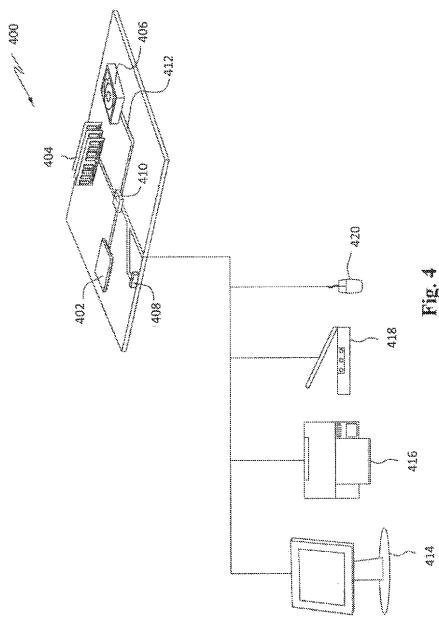


Fig. 3

フロントページの続き

(72)発明者 マハフザー, アラ
アメリカ合衆国、07470 ニュー・ジャージー州、ウェイン、パインズ・レイク・ドライブ・
ウェスト、1155

審査官 小山 和俊

(56)参考文献 特開2002-123667 (JP, A)
特開2003-263597 (JP, A)
特表2002-533845 (JP, A)
国際公開第2005/062223 (WO, A1)
米国特許出願公開第2006/0242037 (US, A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G 06 Q 10/00 - 99/00
G 06 F 15/00
G 16 H 10/00 - 80/00